

制度改革推進会議 第1次 意見書を公表



5月24日、第12回障がい者制度改革推進会議開催。政府に対する「第1次意見書(案)」の本格討論が行なわれました。5月31日は論点整理、6月7日には意見書のとりまとめが行なわれる予定です。

第1次意見書「障害者制度改革の推進のための基本的な方向」(素案)

- ◆「医学モデル」から「社会モデル」に転換する「障害者基本法改正案」を来年の通常国会に提出する。
- ◆「障害者総合福祉法(案)」の2012年内の国会提出や障害者差別禁止法制定に加え、教育、医療、雇用など各分野の制度を改正する。
- ◆来月内に全閣僚で構成する「制度改革推進本部」に提出し閣議決定する。
- ◆基本法改正は、関係閣僚に勧告権をもつ監視機関を設置する。
- ◆政府が検討中の新年金制度で障害者の所得保障を検討することや医師や看護師の配置が一般より少ない精神医療政策などの見直し——などを政府に求めています。

総合福祉部会の今後の日程



第1回部会(4/27)、第2回部会(5/18)で団体ヒアリングを終え、第3回部会(6/1)では、事務局の整理案をもとに意見交換し、推進会議の第1次案に反映することが確認されています。また、6月22日以降の部会は、論点に基づく各団体の意見書を集中し、平成23年夏～秋に「総合福祉法」の結論を得て、平成24年通常国会に法案提出、平成25年8月実施を目途に策定作業を進めていきます。

さらに、ワキガグループによる「障害者の生活実態やニーズを調べる全国調査」が2011年度に実施されます。(名家連ニュース83号)

これからが正念場！全国の家族会と共に 大きく声を上げるときです

名家連では2月26日「みんなねっと」訪問。川崎理事長・良田事務局長と懇談。制度改革に向けて集約した要求資料(家族の願い・家族の訴え)を届けました。

3月、理事会で具体化した家族の要求と政策提言を2度にわたって提出しました。家族の切実な思いは、川崎理事長の意見書(第1回総合福祉部会、名家連ニュース79号)に反映されています。推進会議は今後、テーマごとの専門部会を立ち上げていきます。総論から各論へ、一般論から具体論へ——これからが本番！正念場を迎えます。